

児童・家庭福祉

専門教育科目／2単位／T 授業

担当教員 藤原 幸子

■使用テキスト

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新 社会福祉士養成講座第3巻 児童・家庭福祉」中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

子ども家庭福祉の意義と理念を理解し、児童福祉法をはじめとした関係法規による子ども家庭福祉の保障の仕組みを理解する。子ども家庭福祉の分野における福祉サービスの担い手としての資質と能力を獲得する。DP(1)(2)(3)(4)(5)

到達目標

- 1) 児童が権利の主体であることを踏まえ、児童・家庭及び妊産婦の生活とそれを取り巻く社会環境について理解する
- 2) 児童福祉の歴史と児童観の変遷や制度の発展について理解する
- 3) 児童や家庭福祉に係る法制度について理解する
- 4) 児童や家庭福祉領域における支援の仕組みと方法、社会福祉士の役割について理解する
- 5) 児童・家庭及び妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援のあり方を理解する

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 子ども家庭福祉とは何か

この章のポイント

第1節 子どもの権利

- ・子どもの福祉保障の根底に人権思想があることを理解する
- ・児童の権利に関する条約の意義について理解する
- ・自らの子ども観を見直す機会とする

第2節 子どもの生命と発達

- ・生命の固有性を尊重する社会づくりへと意識を向ける
- ・子どもの発達と環境的要因を結びつけて考えられるようにする
- ・子どもの社会権保障の基盤として、出生のときから氏名と国籍が保障されるべきことを理解する

第3節 子どもと家庭・地域

- ・子どもの権利保障における親や保護者の重要性について理解する
- ・子どもの福祉保障において保護者支援が不可欠であることを理解する
- ・エコロジカルな視点から事象を捉えられるようにする

第4節 子ども家庭福祉とは

- ・児童福祉法の総則と子どもの権利の関係について理解する
- ・ウェルビーイングを指向した子ども家庭福祉のあり方について理解する
- ・理念・制度・方法を切り離さずに子ども家庭ソーシャルワークの全体像を理解する

第2章 子ども家庭福祉の歴史

この章のポイント

第1節 慈善・恩恵から権利保障へ

- ・昭和初期までの歴史について学ぶ
- ・社会の歪みやそのなかで生じていた問題に対処しようとした取り組みについて知る
- ・戦争に向かったの変質、その後の破綻、これを経て新生した福祉の意味を知る

第2節 子ども権利擁護の変遷

- ・戦後から平成までの子ども権利擁護の歴史について学ぶ
- ・戦後から平成までにおける、子どもの立場や生活について理解する

第3節 子ども家庭福祉と現代社会

- ・平成以降の子ども家庭福祉の変遷について学ぶ
- ・現在の「子ども・子育て支援制度」に至るまでの経緯を理解する
- ・現代社会の子どもと家庭の現状と必要な施策の改善点を考察する

第3章 子ども家庭を取り巻く現代社会

この章のポイント

第1節 子ども家庭を取り巻く社会環境

- ・子どもと家族、地域社会の変容を歴史的な流れのなかで理解する
- ・近年の急激な社会の変容と子育て環境の変化について理解する

第2節 現代社会における課題と子育て・子育てへの影響

- ・現代社会における社会環境の変化を理解する
- ・社会環境の変化が子育て環境や子どもたちの生活に与えている影響について学ぶ
- ・子どもの福祉と子育てに支援が必要な状況であることを理解する

第4章 子ども家庭福祉の支援の基盤

この章のポイント

第1節 子ども家庭福祉の法体系

- ・児童福祉六法と関連法律の概要について理解する

第2節 子ども家庭福祉の実施体制

- ・子ども家庭福祉行政の機構について理解する
- ・国、都道府県、市町村の役割と業務を理解する
- ・児童相談所等の子ども家庭福祉の実施機関の目的や業務を理解する

第3節 子ども家庭福祉にかかわる関係機関・施設と利用方式

- ・児童福祉施設やその他の関係機関の目的および役割等について理解する
- ・児童福祉施設の利用方式について理解する

第4節 子ども家庭福祉の財源と費用負担

- ・子ども家庭福祉の財政について、資金の概要と財源の種類を学ぶ
- ・施策の財源がどのようにまかなわれているかを理解する

第5節 子ども家庭福祉の人材と専門職

- ・子ども家庭福祉実践を行う機関や施設について理解する
- ・実践現場における専門職の役割と資格について理解する

第6節 子ども家庭福祉の計画的推進

- ・事業計画に基づきサービスを整備していく考え方を理解する
- ・地域共生社会づくりと民間組織、住民との共同連帯の考え方を理解する

第5章 子どもの福祉課題と支援

この章のポイント

・子ども家庭福祉問題の多様性、それに対応した支援の枠組みや社会資源、特に留意すべき支援のあり方について学習する

- 第1節 子ども・子育て支援
- 第2節 母子保健
- 第3節 保育
- 第4節 要保護児童等と在宅支援
- 第5節 児童虐待にかかわる支援
- 第6節 社会的養護
- 第7節 ひとり親家庭への支援
- 第8節 ドメスティック・バイオレンスと女性支援
- 第9節 スクールソーシャルワーク
- 第10節 少年非行
- 第11節 若者支援
- 第12節 障害のある子どもへの支援
- 第13節 ソーシャルアクション

第6章 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践

この章のポイント

・子ども家庭福祉におけるソーシャルワークの意義を提示し、第1章から第5章までで取り扱った内容を、実践への適応を意識して論じ直す

- 序節 子ども家庭福祉におけるソーシャルワーク
- 第1節 子ども家庭福祉の支援の端緒と調査
- 第2節 子ども家庭福祉におけるアセスメント
- 第3節 子ども家庭福祉における支援の展開過程と連携
- 第4節 子ども・子育て支援にかかわる実践
- 第5節 母子保健や医療との協働による実践
- 第6節 保育における実践
- 第7節 児童虐待にかかわる実践 その1
- 第8節 児童虐待にかかわる実践 その2
- 第9節 社会的養護にかかわる実践
- 第10節 ひとり親家庭への支援にかかわる実践
- 第11節 女性福祉にかかわる実践
- 第12節 教育との協働にかかわる実践
- 第13節 若者の自立支援にかかわる実践
- 第14節 障害児にかかわる実践
- 第15節 当事者参画とアドボカシーにかかわる実践